

入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略 新規事業の令和3年度版実施計画への計上の見送りについて

令和2年10月30日

企画課政策推進室

## 1 令和元年度の経緯

- (1) 平成27年度に策定したまち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間を延長する2年間において、20代～40代の社会増を実現することを狙った新規事業を実施するため、令和元年11月6日付けで各部政策検討プロジェクトチーム（各部に次長職を進行管理者として設置している政策検討組織）に政策推進室の事業案についての意見を求めました。また、令和元年12月6日のこの有識者会議でも新規事業案について意見を頂戴しました。
- (2) その後、政策推進室案に加え、各部からの提案分も含めて新規事業案（資料4参照）の検討作業を進め、令和元年度第5回・第6回の総合戦略推進会議（市三役及び部長職で構成される会議）では、新規事業の令和3年度版実施計画（向こう3年間の市の事業計画）への計上を目指して調整を進めていると説明しました。

## 2 実施計画策定に係る新型コロナウイルス感染拡大の影響

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響による大幅な歳入減が見込まれることから、令和2年5月8日に各課に実施計画調書の作成を依頼した際に、「令和3年度版実施計画策定における基本方向」を庁内に示し、今年度の実施計画の策定に当たっては、新規事業の展開が難しい旨を政策推進室の方針として示しました。
- (2) また、新規事業については、上述のとおり、総合戦略の延長期間中に20代～40代の社会増を実現することを目指したものであり、どの事業案を実施するにせよ、令和3年度の1年間での効果が確実に見込めるといえるものではなく、歳入減がほぼ確実に見込まれる状況下にあっても敢えて実施すべきとまでの根拠は見出せませんでした。

## 3 結論

上記を踏まえ、入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る新規事業の令和3年度実施計画への計上は見送りました。この旨は8月4日に開催した今年度第1回総合戦略推進会議において報告しております。なお、新規事業案については、今後令和4年度スタートの次期総合戦略の策定を進める中で、その実施事業に位置付けることの可否について引き続き検討を続けてまいります。